

一般質問予定表

令和4年第3回定例会（第4号）

7番 福岡進二 議員（ネット岩出）

【一問一答方式】

- 1 マイナンバーカードの普及等について
 - ① 特設会場開設前の交付率と開設後の交付率は。
 - ② 9月末と今年度末の目標交付率は。
 - ③ コンビニ交付の導入費とランニングコストは。
また、1通当たりの証明手数料は。
 - ④ 総務大臣から依頼のあるコンビニ交付の導入は。
- 2 ペットとの共生について
 - ① 市で登録の犬と猫の頭数は。
また、昨年度の新規の頭数は。
 - ② 本年6月の改正以降、本市のマイクロチップの登録数は。
 - ③ 正しい情報の周知と理解の推進は。
 - ④ 災害時のペットの同行避難ガイドラインは。

2番 梅田哲也 議員（創生岩出）

【一問一答方式】

- 1 全国学力学習状況調査の結果と課題について
 - ① 和歌山県では、小学6年生が、国語・算数・理科ともにおおむね全国平均並であったが、岩出市ではどうか。
 - ② 和歌山県では、中学3年生は、国語・数学・理科ともに全国平均を下回っているが、岩出市の中学3年生の傾向はどうか。
 - ③ 生活習慣や学習環境を問うた調査結果の特徴は。
 - ④ 今後の学力向上への課題と対策について。
- 2 公共施設における感染防止対策について
 - ① 感染防止対策として、公共施設での換気設備の整備が課題と思うが、現状認識はどうか。
 - ② 空気清浄機の公共施設への導入計画は。
また、保育所・学校への導入予定は。

9番 大上正春 議員（公明党議員団）

【一問一答方式】

- 1 投票率向上について
 - ① 本市の年齢層別の投票率は。
 - ② 低投票率についての選挙管理委員会の見解は。
 - ③ 過去にどのような取組をしてきたのか。

2 マイナンバーカード普及促進事業について

- ① 特設会場現場での苦勞していることは。
- ② 現在の申請率と交付率は。
- ③ 申請数が交付数につながっているのか。
- ④ 9月末までの申請率の用途は。

5番 奥田富代子 議員（公明党議員団）

【一問一答方式】

1 ICT化における子供の目を守る取組について

- ① 裸眼視力1.0未満の児童生徒の割合は。
- ② ICT教育、GIGAスクール構想が加速する中、児童生徒の目を守る取組は。

2 障害者支援について

- ① 災害時の逃げ遅れをなくす対策は。
- ② 選挙における
 - ・視覚に障害のある方への配慮は。
 - ・聴覚に障害のある方への配慮は。
 - ・腕や足などに障害のある方への配慮は。
 - ・知的障害のある方への配慮は。
 - ・精神障害のある方への配慮は。
- ③ 紙の障害者手帳に代わるデジタル障害者手帳の活用は。

3 マンホールトイレについて

- ① 設置場所と数は。
- ② 使用にあたっての課題は。
- ③ 今後増設の予定は。

6番 尾和正之 議員（郁青青クラブ）

【一問一答方式】

1 職員の飲酒運転問題について

- ① 市の見解と今日までの対策は。
- ② 今後の課題と対策は。

2 市道の維持・管理について

- ① 現状の維持・管理体制は。
- ② 凹凸の補修とカズラ対策は。
- ③ 道路照明灯及び防犯灯の総基数は。電気料金は。

13番 市來利恵 議員（日本共産党議員団）

【一問一答方式】

1 世界平和統一家庭連合（旧統一教会）及び関連団体について

- ① 旧統一教会の市長の認識・関わりの有無について。
- ② 世界平和統一家庭連合（旧統一教会）に対する本市と関連団体との関わりについて。

2 マイナンバーカードについて

- ① カードの交付率を地方交付税の額に反映する方針が打ち出されている。市の見解は。
- ② マイナンバーカードの保険証利用、メリット・デメリットについて市の見解は。

3 中学校運動部活動の地域移行について

- ① 地域移行の考えに対する市教育委員会の見解は。
- ② 部活動の取組の方向性、現状と課題。また、今後の方針・スケジュールは。
- ③ 教職員の働き方改革をどう進めるのか。

14番 増田浩二 議員（日本共産党議員団）

【一問一答方式】

1 投票率向上施策について

- ① 投票率について市の見解と投票率向上へ市の取ってきた施策は。
- ② 投票者における年代別投票率の状況は。
- ③ 投票率向上へ各自治体が研究や調査を行っているが、岩出市はどのような調査研究を行っているのか。
- ④ 昨年の衆議院選挙で全国的に投票率50%に対して65.53%と高い投票率の山形県遊佐町（ゆざまち）の「少年議会」の取組がNHKで紹介されていたが、岩出市としても学ぶべき点が多いと考えます。市の見解は。
- ⑤ 岩出市の特性として、人口の流動が激しく投票所の場所すら知らない市民も増えています。投票所の場所をどう市民に知ってもらうのか。啓発活動強化策をどう進めるのか。
- ⑥ 高校生や大学生の投票率を上げる施策として、那賀高校や近畿大学と協力しての電子投票等ができる研究もすべきではないか。

2 職員体制について

- ① 人口3万人時代と人口5万人を越えている時代に職員体制において職員数の点でほぼ職員数が同様の体制をどう捉えているのか。
- ② 職員の仕事量において人口増における増加があるか考えるか見解は。
- ③ 令和3年度決算において職員の年次有給休暇取得状況は。
- ④ 今年度の職員配置体制で、民俗資料館は職員2名となっています。1人勤務をせざるを得ない状況も生まれていますが、1人勤務体制についての市の考え方をお聞きします。
- ⑤ 広報7月号で、民俗資料館においてボランティア募集もされていたが企画展をはじめとした、年間の取組行事に対応できるのか。市の見解は。
- ⑥ 日常的な超過勤務実態はないか。
- ⑦ 職員の病気休暇や心身や精神的疲労で退職する職員があると聞くが、職員の心のケア体制への取組は。
- ⑧ 行政報告で、来年度の職員採用の件が報告されたが、積極的に追加募集を行ってはどうか。

3 県道泉佐野岩出線の環境整備について

- ① 県道泉佐野岩出線において、市民総合体育館から広域農道交差部間に街灯設置の働きかけを。
- ② 堀口交差点部から広域農道までの間が、雑草の繁茂が激しく歩道上にまで生えてきている場所すらあります。歩道を整備して欲しいとの声もあり、県に環境整備の働きかけを。
- ③ 堀口交差点交差部北側地点において、道路の陥没もあり雨天時に水たまりが生じている場所もあり県に改善を求めている。お願いしたい。
- ④ 以前、泉佐野岩出線東側歩道について自転車通学するにあたり道路の起伏状況の改善を求めましたが、県として改善される方向性は打ち出されたのでしょうか。県における現時点の状況をお聞きします。